

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	医療型児童発達支援センター わかたけ
------	--------------------

公表日 2026 年 3月26日

利用児童数 29名 2026 年 3月2日 回収数 27

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27				のびのびと活動できるスペースありがたい	安全なスペース確保に努めます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26			1	あまり様子をみたことがないです	継続した配置に務め職員一同で協力して、適切な療育を提供できるように努めます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27				専門性のある支援が提供されており安心して預けられる	情報共有した支援に努めます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27				親や子の聞き取りがあるので、一緒に考えやすい	継続して心がけます
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1		1	とてもわかりやすく本人、保護者の希望意見にそった支援計画だと思う	継続して実施します
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27				毎日の活動いろいろやっていてあきないすごい	固定化しないように努力します
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	6		11		コロナ明けはじめての交流会を持つことができました。今後も状況を確認しながら交流を持ちたいと思います
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	2				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	2	1	3	あると勉強になります	研修会等のお知らせ情報の提供に努めます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1			すぐに相談できるのでありがたい	継続を心がけます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3				情報共有した支援に努めます
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1			話を聞いてくれたり、声掛けに助かっている	継続を心がけます
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	3	1	6		交流出来るイベントの企画の検討に努めます
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26				1	いつでも相談等があれば迅速かつ適切に対応を努めます

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26			1		継続を心がけます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	2		9		口頭や箇々の写真、動画で情報提供しています 自己評価結果はWeb-HPで公表 またわかたけ入口に掛けています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1		1		留意していきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1		3		マニュアル策定有、保護者周知、説明に心がけます 発生を想定した訓練実施しています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	1		3		毎年避難訓練を実施しています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26			1		直ぐに連絡してくれるのでありがたい 継続していきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27				いつもありがとうございます	継続していきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27					楽しんで過ごせる時間の提供に務めます
	29	事業所の支援に満足していますか。	27				とても満足している	継続していきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		医療型児童発達支援センター わかたけ		公表日		2026年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	利用人数に合わせた部屋の使用方法や共通スペースを活用したサービスの提供を心がけています	安全に配慮したサービスを提供に努めます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	3	基準を満たした配置人数を配置しています	職員のお休み等が重なり調整が必要業務の改善を図り効果的なサービスを提供に取り組みます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2	ワンフロアで過ごしやすい環境になっています	床間との段差があり転落等の留意が必要でず見守りを徹底しています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		日々の整理整頓・清掃・消毒業務徹底 食事の場・午睡の場・保育の場等、場面の設定を理解しやすい状態の提供に努めています	継続してより良いサービスの提供に努めます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	3	個室がない為パーティションを使用して対応します	体調不良や感染が懸念されるケースが発生した場合等部屋の確保、個室の必要性を検討	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	3	ミーティング等で話し合う機会を設定しています	継続して話し合う機会や問題提起の設定をしていきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	ミーティング等で話し合い。評価分析	保護者の意向に沿えるよう日々のご意見の継続や改善につなげていきたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	検討課題や情報交換ノート活用し共有しています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11	外部評価は行っていません		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		必須研修全員参加・時間外パートさんは紙面にて行う 外部研修報告会等に参加する機会あります		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		ホームページで公表しています	支援プログラムに沿った支援に努めます	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11		相談支援専門員が立案計画した案を基に、児発管を中心に支援の方向性を確認しています		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	2	各担当間で支援の方向性を確認しながら行っています	周知徹底します	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	2	ミーティング等で話し合う機会や情報を共有して計画に沿った支援に努めています	周知徹底します	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2	個々の特性に合わせて確認しています	周知徹底します	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			支援プログラムに沿った支援に努めます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		月担当を中心にチーム内で話し合い立案しています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		担当を中心に話し合い工夫しています		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	3	毎日の集団活動、状況に応じて個別の療育活動を取り入れ、その内容を児童発達支援計画に反映させるようにしています	周知徹底します
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2	朝の申し送りや情報共有、確認しています	パート職員が多い為、時差出勤で確認不足有、周知徹底、情報共有に努めます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	3	全員揃っての振り返りはむずかしい 気付いた点等を話し合う習慣はあります	パート職員が多い為、時差出勤で確認不足有、周知徹底、情報共有に努めます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		全体の日誌や個人の記録を取り、振り返りや改善の材料になっています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		半年評価・年間評価等定期的に評価を実施計画の見直しを図っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		児童発達管理責任者が参加しています	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		保護者や相談員を介して書面や会議等で連携を図っています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		確実に実施できています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11		情報の提供（書式・訪問面談）は実施できています	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	11			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11		センター内での専門職（医師・リハビリ・栄養士）から直接助言を受ける機会はよくあります	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。		11	参加の実績はありません	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11		コロナ前に交流があった幼稚園と5年振りに活動する機会がもてました	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		日々の登所時や降所時、またモニタリング会議等で情報共有、課題について話し合う機会を設けています	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		11	行っていません	センター内ペアレント・トレーニング導入検討中です 情報を収集し要望があれば対応していきます
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		契約時に説明しています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		意向確認、意見を頂いた時には変更や別の視点からの支援方法を検討します	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11		説明をして同意を得ています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		適時連絡ノート、登所時や降所時にお話しできています	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		11	実施できていません	今後の状況を見ながら検討していきます
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		ご相談やご意見等については、確実・誠実に対応を心がけています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11		事業所では実施していませんがセンターHPで発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		十分留意している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		情報の共有や伝達方法を考慮しています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11		事業所としては実施していません	センター全体での納涼祭実施、今年度天候不良で縮小、病棟内だけになりました。今後実施予定
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		マニュアル策定はあります 定期的な周知が必要と考えます 発生を想定した訓練は実施しています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		BCPの策定 訓練実施有	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11		契約時に状況を含め確認、情報収集、共有させて頂いている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		医師の指示のもと栄養課と連携を取りながら対応しています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		事業所安全計画・安全計画書安全マニュアルをもとに安全な環境の中でサービスが提供できるように努めています	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2	現時点では周知できていません	周知に努めます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		インシデントレポートを導入し情報共有しています	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		必須研修で年に一度全員職員勉強会を実施しています		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11		お子さんの状況確認、方法を検討、保護者に説明し了承を得て「緊急やむを得ない安全保護に関する同意書」で記載しています		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	医療型児童発達支援センター わかたけ		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療との連携(医師・看護師) ※医療機器の提供(持参なし) 保護者の就労支援 ※サービス提供時間延長支援	・日々の健康管理、看護師との情報共有・医師との連携 ・緊急時の対応、定期的なシュミレーション実施 ・延長支援時間：8:00-8:30 16:30-17:00	・継続して、ご家族との情報共有に努め健康管理に務めます ・必要時には医師連携して早期受診を進めます ・今年度から延長支援を実施、家族支援につなげています
2	専門職との連携 リハビリスタッフ 管理栄養士	・各々のリハ担当との情報交換・支援計画の振り返り PT：姿勢設定や介助方法、術後の禁忌事項等 OT：手指操作の確認、机上活動の介助方法、座位姿勢 ST：摂食(誤嚥防止・嚥下に関すること等・形態等) 栄養士：相談(形態・嗜好・偏食・体重・加齢的な事等)	・必要時には医師連携して早期受診を進めます連携した取り組みを継続します
3	早期療育の推奨 小集団の経験(保育活動・療育支援)	・0歳児からの受け入れ ・安心して通所に移行出来るように、外来療育等支援事業で体験保育を実施 ・保育士が専門的な視点で支援、毎日の保育・療育活動や季節の行事等遊びを通して成長発達を支援します	・「支援プログラム」個々の「個別支援計画」に沿った支援提供に務めます ・ご家族、他職種と連携して、一人ひとりの成長発達を支援していきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎サービスが無い	利用児の減 新規利用児獲得難	課題解決に向けて上層部に報告 難しいと思いますが、継続して検討が必要な課題と考えています
2	個室が必要な対応ケース(感染が疑われる)が発生した場合、適切に対応できる個室が無い	現在はパーテーションやカーテン等で仕切り対応中	使用できる個室の検討
3	ペアレント・トレーニング等勉強会や情報提供が出来ていない		センター内でペアレント・トレーニング導入検討

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	保育所等訪問支援 わかたけぐんぐん
------	-------------------

公表日 2026年3月26日

利用児童数 2026年3月2日 5回回数

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1		1		情報共有に努めます
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2	1	1	1		検討していきます
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5				月に1, 2回使えるようにしてほしい です	その時の状況にもよりますが、できる限り 希望に沿えるように提案していきます
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4			1		契約時に行っています
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	1	1	1		大変申し訳ありません、当事業所では今の ところ実施されていません
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	4	1				子どもの共通理解、情報共有
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4		1			面談の実施に関しては検討させて頂き ます
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	1				保護者の気持ちに沿った支援ができる ように努めます
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1				再度周知を図り、ご相談があれば敏速 な対応を心がけています
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1				継続して努めます	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4	1					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3	1		1	情報共有に務めます
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	2	1	1	自己評価の結果はホームページで公表しています
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				細心の注意を払って対応しています
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4		1		情報の共有に務めます
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5				最善の注意を払って支援しています
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5				
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	1			満足していただけるように務めています

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援 わかたけぐんぐん		公表日		2026年3月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6	1	事前に相談内容を確認している為、必要な 物品の準備は可能	継続して事前確認、準備を行う	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	訪問専任ではないので、リハ業務との兼ね 合い等で利用希望日に対し制限がある	リハ業務：リハスタッフとの調整が必要で ある。配置数はリハ種類別に考えると負担、 偏りもある為要検討	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	4	3	目標の共有や不明な点はその都度確認して いる	定期的な振り返りの機軸を設けたい	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	困り感を皆で共有し、改善する努力をして いる リハの際に確認、報告を行っている	保護者評価表を共有、改善につなげていく	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	5	2	訪問後口頭で報告している	定期的意見交換や情報収集を行い必要が あれば業務改善に努めたい	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		7	外部評価は行っていません	外部評価は行っていません	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	必須研修は全員参加で院内で勉強会を実施し ている		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	7			支援計画は児発管が立案している 課題確認や共有する機会の設定が必要	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		保護者のニーズや課題抽出、具体的な支援 方法等を児発管と担当職員が確認出来るよ うに努めている		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	7		事前に聞き取りを行い計画書に反映している	継続して連携を図っていく	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	6	1	担当に計画書を確認してもらい実施 継続して支援を行う		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2	5	保護者、訪問先等からの情報のもと、子ども の特性に合わせて確認している	今後フォーマルなアセスメント等も検討し ていきたい	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	5	2	ガイドラインの把握不足	ガイドラインの周知を図る	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	6	1	担当に計画書を確認してもらい実施 継続して支援を行う		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	5	2	計画書作成時内容を確認どう支援するか 口頭で共有 確認してから訪問している 事前の打合せ等の時間の確保が難しい	事前の打合せ等時間の確保、要検討	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	口頭で共有、その後実施記録を記載共有する	振り返り時間の確保、要検討	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	7		適切に実施できている		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	7		支援後実施記録書に支援内容や課題、今後 の方向性等を記録 次へ活かせるように務 めている		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	7		リハ場面で保護者からの意向確認、担当児 発管がモニタリングを実施、必要に応じて 見直しを行っている			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	2	他の業務との兼ね合いで参加難 児発管が出席	情報の共有
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	担当が訪問時、児発管がモニタリング等で連携出来るようにしている	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	実施できている 訪問やリハ見学に来てもらう等連携を図っている	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	4	外部研修の参加はできていない	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		7	参加無	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		リハビリ中に情報共有、共通理解を図っている	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	実施無	センター内でペアレント・トレーニング導入検討中
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	5	契約時、児発管が実施している	リハ担当は実施していない
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	1	児発管が説明	ガイドラインの周知 訪問先へ適切な説明ができるように努める
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	利用者、保護者の意向、サービス等利用計画を考慮の観点を踏まえ作成している 立案後確認、承諾を得ている	立案後、見直しが発生した直ちに修正する
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7		同意は得られている	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	1	リハビリの際に行っている	継続して支援していく
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	実施無	現段階では計画なし
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	2	相談やご意見に対しては、迅速、適切な対応に努めている	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		7	実施無	現段階では計画なし
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		留意している	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	留意して支援に務めている	継続して配慮した支援に努める
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7		事前に日時調整時に相談内容について確認 適切に助言出来るようリハ担当にも確認し 準備していくように心がけている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	5	電話で確認、また保護者からの情報収集	訪問後情報交換を図る必要がある
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7		児発管が支援内容や課題、今後の方向性等 報告、共有を図っている	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		細心の注意を払っている	

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7		丁寧な対応に努めている 専門的な視点から分かりやすいアドバイスを実施している	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	当センターのマニュアルを活用 年2回訓練を実施している 訪問先では訪問先のマニュアルに従う	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	4	安全計画の作成が課題	安全計画の作成が課題
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	各部署内で共有 保育所等訪問に特化した共有は無	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	当センターで虐待防止について年2回必須研修実施	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	4	児童発達支援計画に記載がない 保護者に確認したことがない	児童発達支援に記載 安全保護について報告する

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問事業所 わかたけくぐん		
○保護者評価実施期間	2026年1月21日		～ 2026年3月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2026年2月9日		～ 2026年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月2日		～ 2026年2月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各専門リハビリスタッフの派遣(利用者担当) 信頼関係の構築・利用者熟知出来ている	利用者の担当リハビリスタッフを派遣している 訪問先・保護者と連携 ・事前に課題・お困りについて徴収 ・訪問先の都合を優先して日程を調整している	継続して訪問先と連携して支援をする しっかりアセスメントを実施する リハビリ中に訪問先での様子等を聞き取りも実施する
2	リハビリ時間の保護者同席で情報が共有しやすい	訪問実施前後に保護者との情報共有	継続して保護者と連携して支援する
3	リハビリ見学随時受け入れ	リハビリ場面の見学を提案 保育所等訪問先や他事業所のさんへの推奨している	継続して連携して支援する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	リハビリ業務兼任	リハビリ業務兼任で(他利用者との)調整が必要	継続して支援する
2	リハビリ担当児が多い為、訪問が多くなると、他利用者とのリハビリに影響がでる	訪問が多いと他利用者のリハビリに影響が出る	リハ課職員間で協力した対応を図る
3	保育所等訪問専任ではないので、会議等への参加は難しい	出席する児発管が情報を収集し参加しているが、質問や課題等は持ち帰りにしている	継続

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 2026年3月26日
保育所等訪問支援事業所 わかたけぐんぐん	利用児童数 5名 2026年3月19日 回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5			・口腔内様子を詳しく説明頂き分かりやすかった・教室にある物で姿勢作りを考えて頂けたので良かった・実践して頂き非常に分かりやすかった・注意点や伝えやすくなる方法等具体的に教えて頂いたのですぐに取り入れることができた	課題について解決できるように務めます
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5			・OTの立場として姿勢や手の動き口運ぶ動作が学べた・本児の実態を知っているので声のかけ方介助の仕方等勉強になった・教員等も子供の興味関心ある物次のステップにつなげられる物アドバイス参考になった	今後も知識、技術向上に務め対応できるようにしていきます
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	5			・安全に姿勢管理ができるようサーチ測定器を付けるとよいため確かなアドバイスがあった・質問に対し細かく丁寧に答えてくださりとてもわかりやすかった	適切に分かりやすくお答えできるように務めます
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	1		・アドバイスが聞いて良かった・特に困り感は無かったものの改めて食事の様子をじっくり観察できた・利用後すぐに取り入れ子どもの姿も見られ困っていたことが軽減された	個々のお困り感軽減できるように継続して支援していきます
5	事業所からの支援に満足していますか。	5			・担当と連携して進めて頂けたのでとてもよかった ・満足しています	継続して支援していきます
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>○側弯の術後であり、医療ケア児童である為、安心安全で学校生活を送る事に関わる先生方は毎日緊張しながら向き合って教育していますそのような時に本児を理解して安全に学習できる環境を整えて頂き大変勉強になりました。又悩んだ時に専門的な視点からアドバイスしてもらえたのも授業づくりのヒントになりました。○とても良かった専門の方に教えていただくことで、より安全に関わることができ、また課題解決につなげられることができた。ありがとうございます。○毎年1回保育所等訪問支援を活用している。給食時間という限られた時間内にできる摂食の支援の仕方(声掛け、姿勢、加圧の仕方等)学ぶことができてよかった。</p>					<p>○継続して訪問先の皆様と情報交換等連携を図り、利用者個々のお困りや課題について一緒に考えていきます。 ○訪問の際には具体的に分かりやすく丁寧、適切を心掛けます。</p>	